

おお大勝利

令和5年度 山東サッカー一部報第2号 (4月25日)

サッカー部保護者の皆様、OB・OGの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

Y2B第2節 米沢中央B戦はドロー

4月23日(日)、県リーグ2部Bブロック第2節米沢中央B戦が山形中央高校会場にて行われました。風が強く、ピッチは乾燥して硬いクレー。**とてもボールが収まりそうにないコンディション**。このコンディションを味方につけるのは山東でしょう。だって、人工芝でも収まらないのですから、最初から「収めに行かないとサッカーが成り立たない」などと普通のチームのような高望みしていない。これ、サッカー選手の姿としては反省しなければならないが、これが我々の現状。それに対して、米中の選手は「まずは収めて」というテクニカルな選手がそろっている。私からすれば、「このコンディションでその姿勢はリスクでしょ」と思うのですが、そこらへんはチームカラーの問題というか、目先の1勝よりも優先しているものがあるチームのポリシーの問題ということで、他のチームがどうのこうの言う問題ではない。**山東が米中の選手のビルドアップをとがめてショートカウンターというゲームプラン**が容易に浮かぶ。

試合が始まると、技術とパスワークでゴールに迫る米中と、それを力強い球際で奪って素早く攻める山東という好対照なチームの試合そのまんま。前半序盤は風上に立った山東が攻め込む時間が長かったが、**縦パスを柔らかく入れられる選手がい**ないため、ボールが常に流れてゴールキックか直接GKにキャッチされる。パスが上手いか下手かの境目は、「柔らかい縦パス」が出せるかどうかだと思うのですがね〜。正確に出せるとか、強く出せるとかは、私の基準だと「上手いパサー」の部類に入らず通常レベル。ましてや、横パスやバックパスをミスらざるなんてのは通常以下レベル。でも山東、その通常以下レベルのプレーも正しくできず、ボールを失うことが多い。とすれば、「柔らかい縦パス」などは高望みというもの。**回転とか、浮かすかどうか、優しく転がすなど、瞬時に蹴り分けられる選手が切実に欲しい**。とはいえ、前半の前半、**3年主将左CB ヤマト**の縦パスを受けた**3年右SH マゴロクことカイ**が縦に仕掛け、苦しい体勢でしたが抜ききる前にグラウンダーのクロスを上げると、ニアに詰めた**2年FW ソータ**がうまく合わせ、**先制**に成功。**真中への縦パスに依存しすぎな山東にとって、アウトサイドの攻撃からの得点がとても貴重に感じられ、余計にうれしかった**。しかし、すぐに、①人数をかけて守っているのに、ボールを奪いきれず浮き球のクロスを上げられる。②そのボールへの対応を右CBが誤り、③上ずったGKもフワリとした浮き球のヘディングシュート¹の対応を誤り止まり切れず、④右SBもCBのカバーを放棄して反応しておらず。①〜④の誰かが適切なことをしていたら、なかっただろう**あっけない失点**。失点の瞬間とはこういうものではあるのですが、**人があんなにもいたのに防げないなど、失点の仕方が悪い**。そして、また前半のうちに、左サイドでボールを奪いきれず、左SBと左CBが振られて中央に逃がしたドリブルに対して、ファインシュートを決められ、**早くも逆転を許す**。しかも、このシュートはニアサイ

¹ とすれば、遅いシュートが来るに決まっているので、シュートの瞬間ちゃんと止まってボールを見極めていたら、反応できたはずです。

ドに決まったので、GKは悔しがらなければいけない²。この失点も、**人数が揃っているときのものなので、失点の仕方が同様に悪かった**。前半のうちに早くも逆転されるか〜と確かに失望させられたが、攻撃はオフサイドは多いものの可能性を感じていたし、相手のビルドアップをとがめる作戦は確実にうまくいっていた。そして、とうとうGKのキックを体に当ててだったか、こぼれ球を**188cmの1年大型新人リユージャ³**が押し込み、**山東前半のうちに同点**にする。私の見立てでは、このように山東にとって高い位置での相手ビルドアップをもっとうまくとがめていたら（ワンサイドカットをして切り返しを狙うディフェンスができていたら）、もう2、3点は入っていたはず。ともかく、**前半2対2で折り返す**。あ、そうそう、忘れずに書いておきたい前半の攻撃があった。**3年左SBユーゲン**がオーバーラップし、深い位置でボールを確保。右足で体を入れながら時間を作っていると、その外側を、大型選手ぞろいの山東の中で**キラリと光る小兵2年左SHアユム**が追い越す。ユーゲンが足裏で縦パス！左サイドを深くえぐることに成功する攻撃があった。あの、人間が交差する際にボールの持ち手が**スイッチする攻撃**、とっても有効なので、もっともっと活用が見たい。

さて、後半は山東が風下に立つが、プラスに捉えれば、縦パスが流れていかず止まってくれるので、チャンスが増えるかも。後半も、相手のボールを奪い際の速い攻撃が有効で、全体としては山東のチャンスが多かった。風下だったが、守備は後半の方が良かったと思われる。ただ、**うまく山東のMFとDFの間にボールを運ばれ、「まずい」と感じたシーンは一度や二度ではなかった**。強風でボールが流れたり、ボールが落ち着かなかったりして、結果的にフィニッシュまで持っていかれなかったが、**違うコンディションだったらやられていたのでは、とは思**う。後半の後半、MFの守備の強度が落ち、バイタルエリア⁴を使われるシーンが多くなるのは、前節と同様の課題。山東の攻撃としては、交代で出場したアユム同様の**小兵1年セイスケ**の相手DF裏への飛び出しや、飲水タイム直後のソータのボール奪取からのシュートなど、惜しいシーンが複数あった⁵。でも、特に惜しかったと言えば、前号でも書きましたが、**3年右SBマサツナ**の**無回転ドライブシュート**が後半の終盤に飛び出したこと。凄すぎて、ギャラリーや相手チームはたまたまと思ったかもしれませんが、彼、狙ってあれが打てるんです（コースまでは狙えませんが無回転は）。シュートは惜しくもバーに当たって得点にはなりませんでしたが、「とうとう出た！」という高揚感ありました。でもやはり、決めないとね。

試合は結局、2対2の引き分けに終わる。終盤再三あった山東のCKはいずれも不発。流れの中で取れないチームはセットプレー強くなってもらいたいですね。ともあれ、**2部での初勝ち点**を少し喜びたくなった試合でした。今週末は地区総体につながる村山地区リーグ（Mリーグ）が開幕です。そして、29日（土）はサッカー部保護者会総会、総体激励会・新入部員歓迎会（懇親会）がホテルメトロポリタン山形にて行われます。応援や参加宜しくお願いします。

4月29日（土）Mリーグ 寒河江工業戦 10:50～ 明新館戦 14:10～ @明新館高校

同日、保護者総会 18:00～ 懇親会 18:30～ @ホテルメトロポリタン山形

4月30日（日）Mリーグ 山形南戦 9:00～ @明新館高校

² GKは遠いサイド（ファー）に決められるのは仕方ないにしても、近いサイド（ニア）は責任をもって止めたい。そういう価値観をGKは持つ必要がある。

³ 前号で186cmと書きましたが、直近の身体計測にて187.7cmだったそうなので、次からは188cmと書きたいと思います。ちなみに、**2年生の186cmのショゴ**はこの日、U16山形県トレセンの一員（2年早生まれ）として岩手県トレセンとの「トレセンマッチデー」に召集されており、山東の県リーグ不参加。うちとしては欠場は苦しいのですが、彼が県トレセンで大いに刺激を受け選手としての成長につなげてくれたら、チームにとっても大きい。**岩手との試合は、彼の2得点で引き分け**とのことでした。

⁴ MFとDFの間のスペース。

⁵ ソータのシュートはトイレに行っていて見れませんでした。